

資料2

日付及び時刻の表記を規定する JIS に「令和」を追加

2019年5月20日

日付及び時刻の表記方法を規定する JIS の改正を行い、新元号「令和」を追加しました。
この改正により、新元号を含む日付の表記方法が明確になり、日付情報を交換する際の利便性が向上することが期待されます。

1. JIS 改正の目的

「令和」への改元に伴い、日付を表記する際の「令和」の表記に関する規定を追加するため、JIS X 0301（情報交換のためのデータ要素及び交換形式 - 日付及び時刻の表記）を改正しました。

2. 本 JIS 改正の主なポイント

本 JIS は、西暦又は元号による年及び月日で表す日付、さらに時刻、期間の表記方法について規定しています。例えば、西暦により年月日を表す形式として“YYYY-MM-DD”、元号により年月日を表す形式として“NY.Y.MM.DD”（元号の部分を“N”で表す）などが規定されています。

本 JIS の主な改正内容は次のとおりです。

- (1) 元号を用いた日付の表記において、「令和」を表す記号として、「令」「R」を使用できるよう規定を追加。
- (2) 本 JIS の付属書における「元号による日付と西暦との対応」の表に、平成の最後の日付及び令和の最初の日付を追加。

3. 規格改正の効果

この JIS の改正によって、新元号を含む適切な元号の表記方法を提供することができ、新元号を含む日付の表記方法が明確になり、日付情報を交換する際の利便性が向上することが期待されます。

【担当】

経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 (03-3501-9287)

(課長) 中野 宏和 (担当) 山岸 航、三島 崇